

# 福島県農業の現場から

食品に関するリスクコミュニケーション  
食品中の放射性物質に対する取組について

平成28年2月19日(金) ホルトホール大分

農業法人でんぱた 鈴木正美

# 販売不振

- 福島ブランドが極端に下落した。
- 線量基準値以下や不検出で、生産制限・出荷制限なくとも売れない。
- ブレンド米や業務用加工で「福島産」を消す業者も。
- 安売りしても、しなくても、物は残る。
- 支援イベントによる販売はありがたい。  
継続的になるようお互いの努力が必要。

# 首都圏での販売

- 原発事故後、6割台へ減少。  
事故前沸き立っていた町が沈んだ。
- 現在、7割台へ戻したが、客層は変わった。
- 「福島」を聞くと、品物から手を離す人が今でもいるが、気持ちを割り切るしかない。
- 事故後に離れていった客は戻っていない。
- 津波被害と原発事故では、あまりに違う。

# 人口減少

- 全国的な人口減少の中、事故は若者の更なる首都圏への流出に拍車をかけた。
- 除染や建設関連業態の仕事はあっても、若者の希望する仕事は少ない。
- 農業従事する高齢者が離農したあと、福島県農業はどれほど持続できるのか。
- TPPや米価の下落で、農村の荒廃に歯止めがかからない。

# 「でんぱた」事故後の取り組み

- 産学官連携の精密農業（リモートセンシング）
- 首都圏大学での学園祭出店
- グリーンツーリズム
- 6次化産業での商品化
- 農商工連携の定期的な首都圏農産物販売
- 農業による若者自立支援
- 町内農産物の試験輸出

# 「売る」へ力点を

- 損害賠償は相当因果関係かつ有限。
- 持続可能な農業へ不可欠な収益確保。
- 売れないから、作れない。
- 「売る」ための、人材確保と費用の先行投資が叶うか。
- 「売る」ことが福島ブランド再興への道
- 政府の農業政策で右往左往。  
食糧管理法時代が良かったとの声も。

# パチンコと寿司

「賠償金貰って、パチンコやって寿司喰って、5兆円も払って、いつまで……。」とブログに書き込んであった。

書き込んだ人は、何万人の避難者の生活を指して言っているのだろう。どうか一緒に問題解決に力を貸してほしいとお願いしたい。

川内村でのフォーラムの際、会場質問者の言葉にこういうフレーズがあった。

「嫌な思いをして賠償金を欲しくない。もう一年以上も作物を作って無いんだ。生まれ育った村で、俺は残り少ない一生を過ごしたいだけなんだ。」 隣町へ避難している高齢者だった。

同じ農業者として忘れられない一言となった。

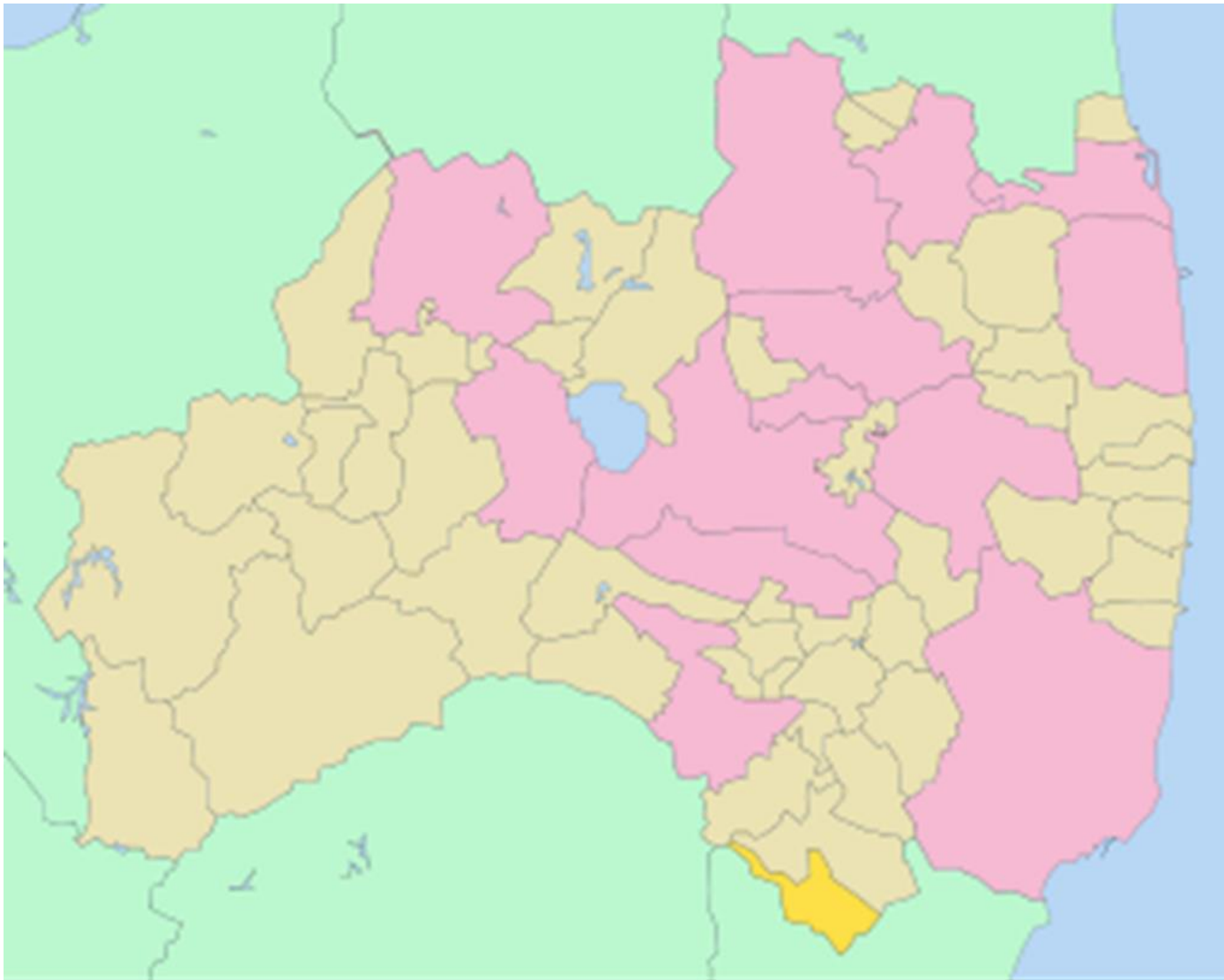
風評と風化の中、「福島」にフタをかぶせて済む問題では無い。



# 福島農業の現場から



農業法人でんぱた  
鈴木正美



矢祭町の位置

# 矢祭町の概要

都道府県	<a href="#">福島県</a>
郡	<a href="#">東白川郡</a>
<a href="#">団体コード</a>	07482-9
面積	<b>118.27</b> <a href="#">km<sup>2</sup></a>
総人口	<b>5,921</b> 人 ( <a href="#">推計人口</a> 、2015年5月1日)
<a href="#">人口密度</a>	<b>50.1</b> 人/km <sup>2</sup>
隣接自治体	<a href="#">東白川郡棚倉町</a> 、 <a href="#">塙町</a> <a href="#">茨城県</a> : <a href="#">常陸太田市</a> 、 <a href="#">久慈郡大子町</a>
町の木	<a href="#">アカマツ</a>
町の花	<a href="#">ツツジ</a>
町の鳥	<a href="#">ヤマバト</a>





# 戸津辺の桜



# 久慈川





# 滝川溪谷



# 矢祭山 県立自然公園





天王祭 夏祭り



# 田植えで一休み





# ブルーベリー園 はぐくみ





田植え 逃亡



# 農業体験の昼





都会の子 塩むすび

女性農家

出荷の後







# もったいない市場 農商工連携事業





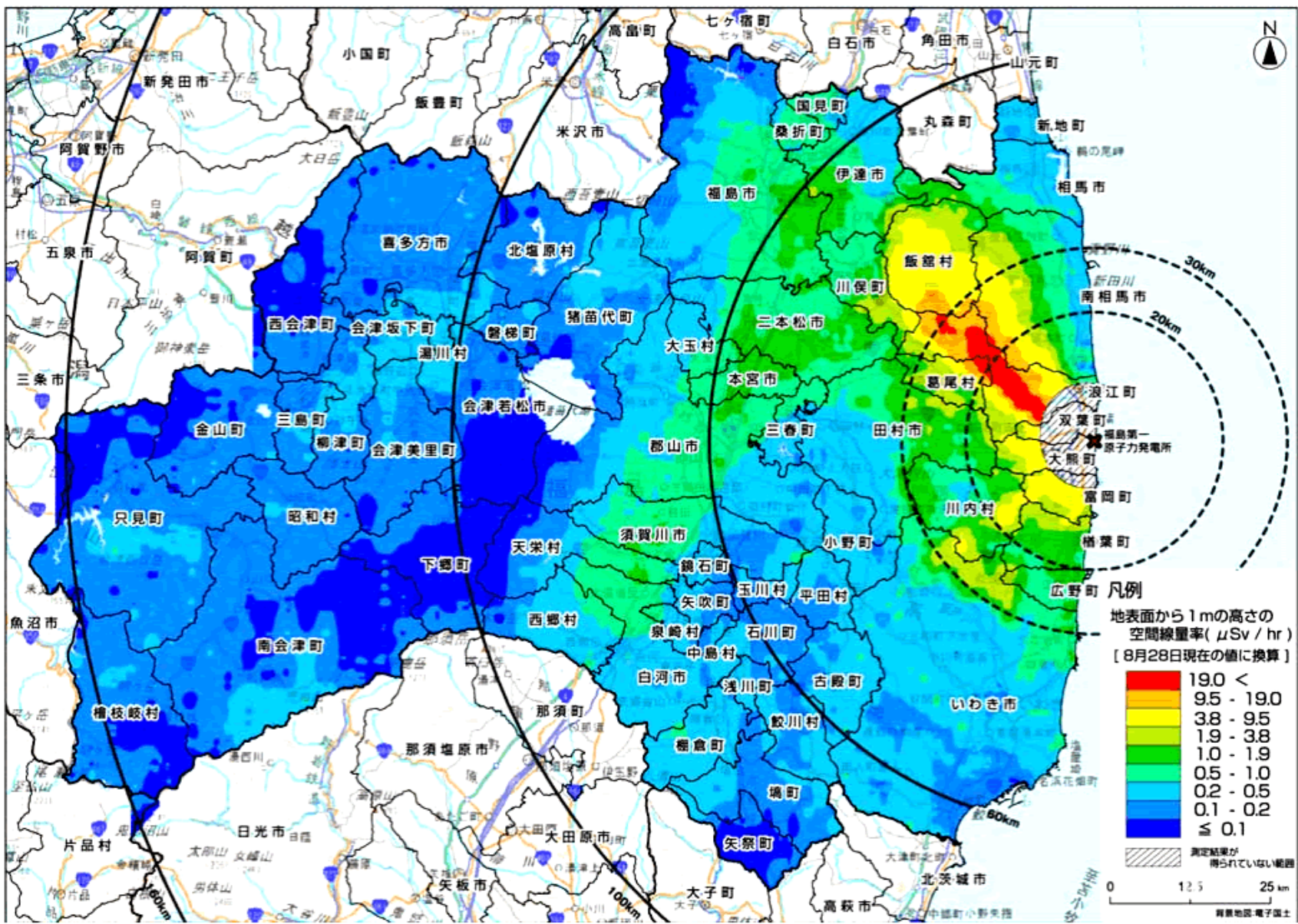
# 精密農業による暗黙知の可視化 産学官連携事業





# 農産品 値付け分荷作業

文部科学省による福島県西部の航空機モニタリングの測定結果について  
 (福島県内の地表面から1m高さの空間線量率)







# 富岡町駅前





# 富岡町の線路





# 川内村の汚染土壌

# 米・果実の検査結果

報告書No. IAAG- 146365  
2014年10月02日

## 放射能汚染検査報告書

(核種検査(<sup>137</sup>I, <sup>134</sup>Cs, <sup>137</sup>Cs)、γ線スペクトロメータによる検査)

有限会社 でんばた 御中

株式会社 加速器分析研究所



放射能測定に係る結果は、下記の通りです。

品名	平成26年度 白米 (矢祭町内産)															
測定器	ゲルマニウム半導体検出器型放射能測定装置 装置名: SEG-EMS (食品・環境放射能測定装置)															
結果	放射性ヨウ素131 不検出 (<0.96) Bq/kg	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">主な基準値 (Bq/kg) 2012.4.1施行</td> </tr> <tr> <td>品目</td> <td>放射性セシウムの合計</td> </tr> <tr> <td>飲料水</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>牛乳・乳児用食品</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>一般食品</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>肥料・土壌改良資材・培土</td> <td>400</td> </tr> <tr> <td>飼料: 牛、鶏さきん、豚</td> <td>100、160、80</td> </tr> </table>	主な基準値 (Bq/kg) 2012.4.1施行		品目	放射性セシウムの合計	飲料水	10	牛乳・乳児用食品	50	一般食品	100	肥料・土壌改良資材・培土	400	飼料: 牛、鶏さきん、豚	100、160、80
	主な基準値 (Bq/kg) 2012.4.1施行															
品目	放射性セシウムの合計															
飲料水	10															
牛乳・乳児用食品	50															
一般食品	100															
肥料・土壌改良資材・培土	400															
飼料: 牛、鶏さきん、豚	100、160、80															
	放射性セシウム合計 - Bq/kg															
	放射性セシウム134 不検出 (<0.81) Bq/kg															
	放射性セシウム137 不検出 (<1.0) Bq/kg															
<p>持ち込まれた検体をそのまま測定しています。 放射性ヨウ素、セシウム共に検出されませんでした。</p>																
備考	<p>※1 測定は、文部科学省放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリ」を基に行った。 ※2 この測定値は持ち込まれた検体に対する結果である。 ※3 測定結果は100Bq/kg未満は有効数字2桁、それ以上は有効数字3桁で示している。不検出時の(&lt;)は検出限界を示している。</p>	<p>測定場所: 株式会社 加速器分析研究所 白河分析センター</p> <p>測定日: 2014年10月02日</p>														

様式2

通知 No.07128  
平成27年6月25日

## 放射性物質濃度検査結果通知書

住所 矢祭町大字東館字蔵屋敷 12-1  
氏名 有限会社 でんばた 御中

矢祭町長 古張 允



矢祭町において放射性物質濃度を測定した結果は、以下のとおりです。

品名	<p>試料の種類 ブルーベリー 採取場所 内川字トキノス地内 採取時期 H27年6月25日</p>
測定器	<p>NaI(Tl)シンチレーター 独国ベルトールドテクノロジー社製 ガンマスペクトロメータ LB2045【裏面は校正証書】</p>
結果	<p>放射性セシウム合計 検出せず Bq/kg</p> <p>放射性セシウム134 検出せず(&lt;6) Bq/kg</p> <p>放射性セシウム137 検出せず(&lt;6) Bq/kg</p> <p style="text-align: right;">測定場所: 矢祭町山村開発センター 測定日時: 平成27年 6月25日</p>
備考	<p>○ 検体の前処理は、厚生労働省の事務連絡「緊急時における食品の放射能測定測定マニュアル」に従った。 ○ 測定は、文部科学省放射能測定法シリーズ6「NaIシンチレーションスペクトロメータ機器分析法」を基に行った。 ○ セシウムの基準値は、セシウム134とセシウム137の合計値に対して適用される。 ○ この測定値は持ち込まれた試料に対する結果である。</p>



